

第8単元 偶数と奇数、倍数と約数(A)

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	10 (各5) (完答)	偶数…0、12、36、48、 94、110、136 奇数…23、51、67、89、 105	知技 偶数、奇数の意味を理解し、類別することができる。	2でわってわりきれぬかどうかで偶数や奇数を判断しようとしている児童には、一の位に着目すればよいことに気づかせる。
②	① ④ (各5)	① 5 ② 5 ③ 14 ④ 15	知技 偶数 = 2 × 整数、奇数 = 2 × 整数 + 1 なることを理解している。	偶数と奇数が交互に並んでいることから、偶数 + 1 = 奇数を確認し、式と結びつける。
③	① ② (各5) (完答)	① 4、8、12、16、20 ② 7、14、21、28、35	知技 倍数の意味を理解している。	「倍数」の意味についてしっかり理解させる。特に、1倍に注意させる。
④	① ② (各5) (完答)	① 15、30、45 ② 24、48、72	知技 公倍数の意味を理解し、公倍数を求めることができる。	「公倍数」の意味を確認する。2つの数についてそれぞれの倍数を書かせ、共通する数を見つけさせる。
⑤	① ③ (各5)	① 10 ② 45 ③ 42	知技 最小公倍数を求めることができる。	「最小公倍数」の意味を確認する。
⑥	① ② (各5) (完答)	① 1、3、9 ② 1、2、3、4、6、8、 12、24	知技 約数の意味を理解している。	「約数」の意味についてしっかり理解させる。1とその数自身を忘れないように注意させる。
⑦	① ② (各5) (完答)	① 1、7 ② 1、2、4、8、16	知技 公約数の意味を理解し、公約数を求めることができる。	「公約数」の意味を確認する。2つの数についてそれぞれの約数を書かせ、共通する数を見つけさせる。
⑧	① ③ (各5)	① 6 ② 12 ③ 3	知技 最大公約数を求めることができる。	「最大公約数」の意味を確認する。

第8単元 偶数と奇数、倍数と約数(B)

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	いくみ	思判表 偶数かどうかは、一の位の数字を見れば、能率的に判断できることを見いだしている。	ひとしを選んだ児童には、それを認めた上で、偶数を書き並べさせたり、数直線を使って、一の位だけ見ればよいことに気づかせる。
②	5人	思判表 公約数の考えを活用して、問題を解決している。	それぞれをあまりが出ないように分けられる人数が公約数になり、15と20の最大公約数を求めればよいことに気づかせる。
③	午前8時36分	思判表 公倍数の考えを活用して、問題を解決している。	上りの電車と下りの電車が発車する時刻をそれぞれ求め、次に同時に発車する時刻を見つけさせる。それが最小公倍数であることを確認する。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3～2問	1問	0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。